

■住民研修・【事例発表会】

◎特定非営利活動法人 塩田津町並み保存会

○発表テーマ「伝統家屋を活かしたまちづくり」

○発表者：塩田津町並み保存会 理事 水山清吾

団体所在地：〒849-1411

佐賀県嬉野市塩田町馬場下甲694番地

☎0954-66-3550（塩田津町並み交流集会所）

E-mail：shiotatsu1227@dune.ocn.ne.jp

理事会：理事 14名（理事長・前田 貞昭）

会員数：正会員 個人213名・6団体

賛助 個人13名

年会費：正会員 個人1,000円・団体5,000円

賛助 個人3,000円・団体10,000円

設立年月日：平成 22年 10月（法人認定年月日）

●地区の概要

嬉野市塩田津伝統的建造物群保存地区は、佐賀県の南西部、町の中央を流れて有明海に注ぐ塩田川とその交流が作り出した平野部に位置し、旧塩田川と旧長崎街道に沿って広がる約12,8haの地域です。保存地区は、山沿いの景観、旧長崎街道沿いの景観、旧塩田川沿いの景観という三つの要素から構成されています。上町・中町・下町一帯を「塩田津」と呼び、江戸時代後期に建設された居蔵造りの町家が数多く現存するとともに、藩政期に遡る町割や地割・街路・水路にも大きな変化は見られないまま、その歴史的景観を今日まで良好に継承しています。



嘉永3年の塩田津



昭和23年の塩田津

●主な活動内容

1) 塩田津の町並み保存活用

毎年一回保存修理工事のアンケート調査を実施し、保存修理希望者に対して、地元建築士さんの協力により、建物の現況確認調査やヒアリング等の実施をしています。また保存修理家屋の見学学習会を年2回実施しています。活用として、伝統家屋での[おもてなしお茶会]・[作品展示会]・[塩田津軒先市]・[もちつき会]など地元住民のコミュニケーションの場となるよう実施しています。



建物の現況調査の様様



工事中見学学習会



もちつき会の模様



塩田津軒先市

2) 啓発事業・機関紙の発行

地元の建築士会の協力による「建築士の日」の行事として、塩田工業高校建築科の生徒が修理家屋の見学や実習体験を実施しています。また、中学校の3年生生徒たちが、伝統家屋でのお茶会の体験を通して地域の歴史や文化を学んでいます。住民には、先進地視察研修の実施や機関紙の発行により啓発・情報発信をしています。



塩田工業高校実習体験



塩田中学校お茶会体験

3) 町並み案内・ガイド勉強会

重伝建地区を中心に町並み案内や意見交換会などを実施しています。

4) 町並みマップ・案内板の作成と設置

保存修理家屋の状況変化により町並みマップの更新や、案内板の作成・設置をしています。

●塩田津町並み保存会のこれからの課題

塩田津町並み保存会の大きな目的の一つが伝建事業を支える事ですが、事業開始の頃から比べて修理・修景ヶ所の決定が難しくなっている。一つの原因は、住民の高齢化と修理後の建物活用が進んでいない事にある。今後は、現在実施している活用事業が住民にもっと溶け込めるような活動と、また空き家が徐々に増えつつあるので、地域外の方々にこの塩田津をもっとアピールし、建物を活用する提案をいただきながら住んでもらう、また生まれ育った塩田へ戻りたいと思ってもらえるよう生活感あふれる本物の町並みづくりを継承していく努力を続けていきたいと思っています。



塩田津の町並み（中町）と長崎街道